

令和8年度
芦北町立
佐敷小学校



重点目標
「佐小の伝統の上に学びを楽しみ、自らの未来に向けて考動するさしきっ子」
育てたい力：共感力 探究力 協働力

佐小だより

7月号
7月13日発行
文責：徳成

「もしかして」と考えられるか？

危険を予測できるか？

長い夏休みが始まります。楽しみにしている子供も多いと思います。いろいろな計画を立てられているご家庭もあるのではないのでしょうか。

そのような夏休みですが、やはり心配なのは、「事故」です。子供たちには、普段できない経験をして、たくさんの思い出をつくって欲しいですし、勉強（宿題）もしっかりして欲しいです。家の手伝いなども頑張ってもらいたいです。

しかし、何よりも守って欲しいことは、「命を守ること」です。何気ない日常にも危険なことは様々なところに隠れています。それらのことに気付いたり、予測したりして、十分気をつけて夏休みを過ごして欲しいと思います。

各学級で、担任からも話をしていますが、終業式では、校長から以下のようなスライドを示して、「隠れている危険」について考えてもらおうと思っています。



青信号の時でも、
車が来るかもしれない



いきなり連れて行かれ
るかもしれない



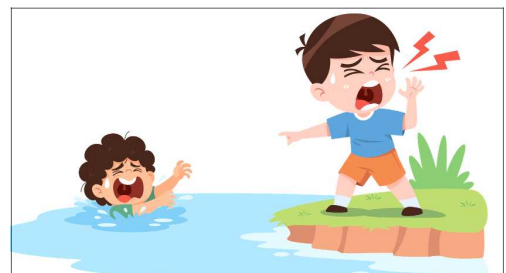
車が動き出すかもしれない



熱中症になる
かもしれない



地震が起きる
かもしれない

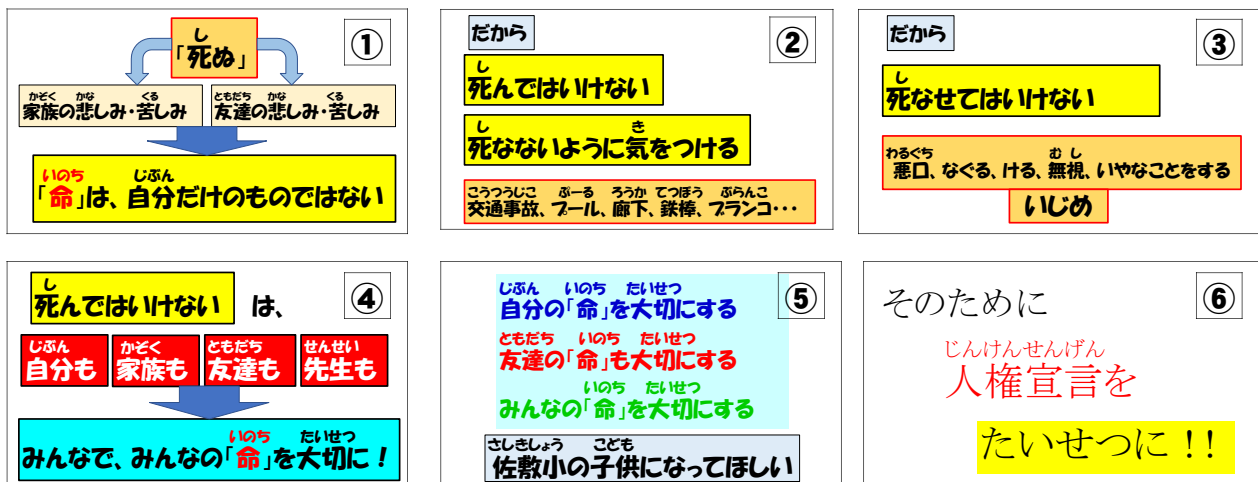


溺れるかもしれない

子供たちも、上記のような話を聞いた後しばらくは気を付けるでしょう。しかし、長い夏休みです。時間がたつと忘れてしまう子供もいるかもしれません。楽しく、思い出に残る夏休みになりますよう、ご家庭でも、ことあるごとに声をかけていただければと思います。

9月1日の始業式に、全員が元気に学校に来てくれることを楽しみにしています。

人権集会を行いました



6月26日に人権集会を行いました。人権集会に先立ち、各学級では人権学習を行い、各学級の課題を考え、それを解決するための人権宣言をつくりました。

集会では、まず、校長から上記のスライドを使って、以下のような話をしました。

- ①「命」は自分だけのものではないこと
- ②だから、死んではいけないこと、死なないように気をつけなければならないこと
- ③人を死なせてはいけないこと→「悪口」等は人を死なせることに繋がる可能性があること
- ④⑤みんなで、みんなの「命」を大切にしなければならないこと
- ⑥学級全員で考えた「人権宣言」を「決めただけ」で終わらせないこと

この後、各学級の人権宣言を発表しました。子供たちは皆、友達のことを大切にしなければならないことは分かっています。人権宣言もしっかり考えて決めました。後は、それをやるかやらないかです。学校でも、常に人権宣言を意識して生活できるよう、声かけを行って行きます。

ねる前ストップ 「スクリーンタイム」

教師：なんか眠そうだね。

児童：だって、昨日12時に寝ました。

教師：何してたの？

児童：ゲームしてました。

ゲームやYouTubeの魅力とは、本当にすごいです。子供たちを虜にしてしまうようです。一度その魅力にとりつかれてしまうと、なかなか抜け出すことができない子供たちもいます。

そうになってしまうと、睡眠時間が不足し、勉強に限らず様々な日常生活に支障が現れてきます。

そうならないように、昨年度まで「元気アップカード」に「メディアコントロール」の取組を入れていました。しかし、なかなか改善が見られないところもあったため、今年度から「ねる前ストップ スクリーンタイム」の取組を始めました。

「ねる前ストップ スクリーンタイム」の詳細については、先週まで取り組んでいた「元気アップカード」でご確認いただきたいと思います。

ただ、ゲーム、YouTubeやSNSなどにのめり込みすぎて、自らの意思で抜け出すことができず、学校生活や日常生活に支障を来してしまう子供が多くなっていることは確かです。ゲーム等の利用を自分でコントロールできず、日常生活に支障が出てきてしまった場合、それは「依存症」という病気になります。「アルコール依存」、「薬物依存」や「ギャンブル依存」等と同じで、病院や専門機関での治療が必要になります。

ゲーム、YouTubeやSNS等は、楽しく、便利な道具です。生活が豊かになるような使い方をして欲しいと思います。

左は、ある朝の、子供と教師との会話です。「よくある」とまではいきませんが、そんなに特別な珍しい会話ではありません。中には、「1時に寝ました。」「2時に寝ました。」という子供もいます。